

COVID-19感染拡大後の 世界の撮影環境の現状について

特定非営利活動法人
ジャパン・フィルムコミッション

世界の撮影環境の現状

- ・世界中のほとんどの国で、映像制作は再開。スタジオ撮影はほぼ再開。ロケーション撮影は、地域によるが、規制が厳しい。
- ・海外撮影の作品も再開した国もある
- ・リモートでの技術も上がっており、リモートを取り入れた撮影も増加
- ・撮影における各国のガイドラインはほぼ同じ

* 撮影に当たって順守するガイドラインの内容

- －手洗い、手指消毒の徹底
- －マスクの着用
- －ソーシャルディスタンスの徹底(ほとんどの国で2m)
- －衛生チームの設置

* 国によって行っている取り組み

- －地域を超える際のPCR検査および14日間の検疫措置
- －衛生費用の補助(助成)

(コロナ保険に関してはほとんどの国が設置できていない)

国内の映像制作等に関するガイドライン

| | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 一般社団法人 日本映画製作者連盟 | 映画撮影における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン |
| | 新型コロナウイルス対策 ガイドライン作成のための手引き |
| 協同組合 日本映画製作者協会 | 映画制作における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン |
| 一般社団法人 日本民間放送連盟 | 番組制作における新型コロナウイルス感染予防対策の留意事項 |
| 一般社団法人 衛星放送協会 | 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン |
| 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 | ケーブルテレビ業界向け新型コロナウイルス対策ガイドライン |
| 全国興行生活衛生同業組合連合会 | 映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン |
| 日本放送協会 | 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン |
| 民放各局 | ガイドライン、留意事項 |
| 全国興行生活衛生同業組合連合会 | 映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン |
| 特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション | ロケ撮影支援における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン |
| | ロケ撮影における新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト |
| 各地域 | JFCのガイドライン活用または地域ガイドライン |

- * 地域での撮影においては、作品ごとに対応。但し、ロケ地の交渉や地域住人の否定的な反応からPCR検査の実施を決める組も増加。
- * 東京からの撮影隊は、PCR検査または抗体検査を必須とする地域も増加。
- * 離島は受け入れ拒否のところも増加。

海外の対策と現状

出典：Production Service Network（8月5日現在）

| 地域 | スタジオ撮影 | ロケーション撮影 | 国内旅行 | 海外からのインバウンド旅行 |
|--------------------|--------|----------|-------|---|
| Australia | ○ | ○ | 部分的解除 | 閉鎖中 |
| Brazil | ○ | 可能 | 部分的解除 | 閉鎖中 Ancine(Agencia Nacional do Cinema)で許可している国は可 処理には5営業日/PCR検査 陰性 |
| Canada | ○ | ○ | 部分的解除 | 14日間の検疫と労働許可が必要 (10営業日で2000ドル(8月21日より解除) |
| China | ○ | ○ | 部分的解除 | 閉鎖中 |
| France | ○ | ○ | 解除 | 免除国: EU and JP, KR, AU, NZ, TH, CA, DZ, GE, ME, MA, RW, RS, TN, and UY. 中国は相互であれば可能。レッドゾーンの国に閉鎖。 |
| Germany | ○ | ○ | 解除 | EUは解除。その他は到着時にPCRで陰性が必須 |
| India | ○ | 可能 | 解除 | 閉鎖中 |
| Italy | ○ | 可能 | 解除 | 解除国: EU and JP, KR, AU, NZ, TH, CA, DZ, GE, ME, MA, RW, RS, TN and UY. 中国は相互の場合のみ。レッドゾーン国は閉鎖中 |
| Malaysia | ○ | ○ | 解除 | 閉鎖中 |
| New Zealand | ○ | ○ | 解除 | 14日間検疫必須 |
| Singapore | ○ | ○ | 解除 | 閉鎖中 |
| South Korea | ○ | 可能 | 解除 | 14日間の検疫 |
| Thailand | ○ | 可能 | 部分的解除 | KR、CN、JP、SG、HKを対象。必要な二重のPCRテストおよび追跡アプリの導入 追加 14日間の隔離+ レッドゾーン国は特別許可 |
| UK | ○ | 可能 | 解除 | ヨーロッパとその他の国。14日間の隔離。但し、レッドゾーン国は別途許可 |
| USA East & West | ○ | 可能 | 部分的解除 | 日本は解除 |
| USA Florida | ○ | 可能 | 解除 | 部分的解除 |
| USA Hawaii | ○ | ○ | 部分的解除 | 部分的解除 |

各国の現状

| | | |
|----|---------|--|
| | アメリカ全土 | <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインおよび、地域の保健所の指導に準じる ・州を跨ぐ場合は、州を移動するたびにPCR検査。撮影中は、定期的なPCR検査の実施 ・ロケーションの3D LiDAR & VFX scanningを使った撮影が増えている ・多くのFCが衛生管理やPCR検査に予算がかかるため、そのためのインセンティブ制度を設置を検討 |
| US | ロサンゼルス | <ul style="list-style-type: none"> ・6月15日から、CM、テレビ、映画撮影の許認可申請を徐々に再開。LA地域のヘルスプロトコルを提出することが条件。学校での撮影は不可 ・8月11日の時点で、LAのほぼ全地域の都市で、撮影申請を受け付け中 しかし公共の場所の多くは撮影不可。(作品による) 学校はLA学区は受付開始。他は不可 ・撮影時は、ガイドラインに沿って社会的距離の確保、衛生基準の設置、定期的なPCR検査の実施が必須 ・通常より許可申請には時間を要する ・中小企業向けの1,100万ドル助成。LAの中小企業は5,000～20,000ドルの無利子ローン ・サンタモニカにある血液検査で癌を検知する業務を行っている会社では、24時間のPCR検査を行うことで映画制作やスタジオを支援 |
| | ニューヨーク州 | <ul style="list-style-type: none"> ・14日間の検疫が必要 ・NY市以外の地域では撮影が徐々に始まっている(バッファローFC) |
| | ハワイ州 | <ul style="list-style-type: none"> ・州の施設は撮影受入れの中止 ・ハワイに到着後と出発後の14日間は、検疫が必要 |
| | ワシントン州 | 7月8日にガイドラインに沿って撮影の申請を受け付けると公表 |

| | |
|-----------------------------------|--|
| UK | <ul style="list-style-type: none"> ・国内の映画とテレビ制作のための保険基金(5億ポンド(約700億円))を設立 ・映画製作、Amazonプライムシリーズは中断していたが再開 ・ディズニー、ソニー、BCSを含む主要スタジオももうすぐ再開予定 ・中国最大の映画スタジオCGTNも再開。撮影も再開 ・リバプール・フィルムオフィスでは、15作品の基金(158,000ポンド)が決定 資金は地元企業と、フィルムオフィスとFilm and TV Development Fundから |
| カナダ | <ul style="list-style-type: none"> ・英国の補償基金などを参考にしたコロナ保険の検討 ・ブリティッシュコロンビアと米国のスタジオは合意に達したので、カナダの撮影監督協会や俳優組合が協力して撮影を開始 |
| インド (Producers Guild of India) | <ul style="list-style-type: none"> ・屋外のロケの際は、ブロック全体を封鎖する。できるだけスタジオ内で撮影 ・ロケハンはできるだけオンラインで行う ・現場では必ずOccupational Health and Safety (OHS) managerまたは、訓練を受けた調整および責任を負う権限のある人物が伝染対策を監督する ・キャスト(スタント・エキストラ含む)はPCR検査の徹底(医師による検査) * 照明、ヘアメイクなど含む、撮影に関する全体のガイドラインになっている (スタッフにお風呂を提供する、シューカバーを提供をするというインドらしい項目がある) |
| シンガポール | <ul style="list-style-type: none"> ・6月2日から制限下での撮影再開 |
| オーストラリア | <ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬から撮影を再開。海外からの受け入れも実施 ・オーストラリア連邦政府は、大規模な外国映画制作を誘致するために、約2億8,000万ドル(4億豪ドル)を提供。今後7年間で、国内で制作又はポストプロされた作品ヘリベートを行う(7月発表) 国内のアート、エンタテインメント全般のコロナからの回復のためのインセンティブとして1億7,500万ドルを支援。そのうち、3440万ドルは映画とテレビの制作を再開できる保険契約の財政的保証のインセンティブ予算(6月下旬発表) |

| | |
|------|--|
| フランス | <ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬からCM、TVプログラム、映画が徐々に再開。ロケ撮影も開放 ・補償基金：プロジェクトの予算の最大20%をカバーし、ケースバイケースで5,400万ドルの基金 |
| 中国 | <ul style="list-style-type: none"> ・映画館のうち367館が再開(7月20日～) マスク着用／飲食禁止／定員に対し30%まで／2時間以内の作品のみ上映 |
| 韓国 | <ul style="list-style-type: none"> ・映画支援特別措置(国内作品の総製作費に併せて) ・映画館の割引 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ソウル市内で6月末から大規模なドラマ撮影の開始(ロケ撮影も実施) ・7月中旬から韓国映画は、ヨルダンでの撮影再開。(但し、マスク以外の対処はしていなかったとヨルダンFCが報告) |

AFCI(国際フィルムコミッショナーズ協会) の取り組み

- ・2週間毎のウェビナーの開催 (世界中のFCがオンラインで情報共有)
- ・研修の実施(オンライン人材育成)
- ・世界の現状を知るための「AFCI Global Production Alert」を立ち上げ

映像業界の支援体制（ハリウッド）

| 組織 | 概要 |
|--|---|
| The Actors Fund | エンタテインメント業界人に、緊急財政援護とカウンセリング |
| Association of Independent Commercial Producers | 会員へのウェビナーとガイダンスの実施 |
| Academy of Motion Picture Arts and Sciences | 映画業界へ約400万ドルの寄付。スタッフと俳優へ |
| Animation Guild – IATSE Local 839 | リソースの提供 |
| Artist Relief | 芸術団体への助成金のほか、緊急コロナ支援基金の立ち上げ |
| Directors Guild of America (DGA) | COVID-19救済基金：医療費をカバーの他、メンバーは短期無利子ローンの申請可 |
| Field of Vision | ドキュメンタリーフリーランス救済基金：\$ 250,000の基金の立ち上げ |
| Motion Picture and Television Fund (MPTF) | コロナ緊急援助基金：健康保険、メンタルヘルス支援、家賃、食糧、その他の必需品を含む問題の支援 |
| Netflix | 1億5000万ドルの救済基金を設立。世界中のNetflixの作品で最もヒットしたスタッフへ。Netflixは英国、インド、フランスでの映画とテレビの制作に100万ドルの追加の救援資金を発表 |
| Sony | コロナグローバル救済基金（以下3者への支援の実施） 1. 医療および最前に対応する従事者 2. 子供と教育者 3. エンタテインメント業界のクリエイティブコミュニティのメンバー |
| Warner Media | コロナで影響を受けたスタッフへの1億ドルの救援資金 18歳以上の俳優学校に通う生徒への支援(アメリカ他数か国の大学進学への支援に加え、TVなどのキャスティングオーディションの優遇) |
| Will Rogers Motion Pictures Pioneers Foundation Fund | 財政支援(申請から3～5営業日に対応) |